

令和 2 年度 稲沢市地域自立支援協議会 第 3 回地域生活支援部会 議事要旨

[日 時] 令和 3 年 1 月 13 日 (水) 午後 2 時～午後 3 時

[場 所] 稲沢市役所 第 1 分庁舎 2 階 第 3 会議室

[出席者] 地域生活支援部会委員 11 人、事務局 4 人

[欠席者] なし

[議 事]

1 協議事項

(1) 作業部会の実施状況について

・地域生活支援拠点等の整備に関する作業部会

○作業部会後の動きについて (事務局から説明)

○2 つ要綱を作成した。1 つは拠点整備にかかるもの、もう 1 つは緊急時の対応にかかるもの。このうち拠点整備の要綱については、事業所の方に拠点機能を担うということで登録していただきたいということで、今年度内に進められるよう 1 月からの施行としていたが、次年度の事業のため時期尚早ということを財政部局から話があり、まだ要綱を施行していない。内容としては修正することなく施行したい。事業所の方には 4 月になったら拠点機能を担う事業所として登録してもらえるようお願いしたい。

○連絡会においても 11 月の相談支援事業所連絡会、12 月の就労支援事業所連絡会、日中活動事業所連絡会及び居宅介護事業所連絡会で、要綱や事前の届け出に関して説明した。

○事業所登録は 1 月から予定していたが、次年度からになったということ、時期は 4 月になるが進めていただくということとは変わらないということになる。今日、何か協議する予定ではないが、ご意見があればお聞かせいただきたい

○施設が新しくなったので一次拠点が担えるようにしていきたい。

・こども部会(仮)設置に関する作業部会

○作業部会 (12 月 2 日) について報告 (濱野委員)

○サポートブックの内容は 1 月末までに最終チェックしてもらっている。大まかな内容は前回部会でお渡ししている。

○中身は事務局で印刷していく。外のファイルを購入するために調整している。今進んでいる案として見本をお回しする。材質を確認していただきたい。デザインの案については、別紙のとおり配布している。色見本も取り寄せている。この中から選択するかたちになる。なおファイル案はライトグリーンなどの淡い色が良いと考えている。グリーンは市のイメージカラーである。文字は白抜きを考えている。今後、業者との打ち合わせで変更になる可能性もあるが、ご意見があれば伺いたい。

○サイズも大きくなり存在感がある。

- ライトグリーンに白抜きは文字が目立ちにくいかなと思うので、黒はどうか。
- 文字色があまり選べず、黒は選べないと業者から聞いている。金か銀というとサポートブックという感じではない。
- 色はこだわらなくてよいかなと思う。
- 紙の質が話題になっていたと思う。小さいころから使えるようにコピー紙にしていただけで良かった。

(2) 次年度について

- ・子ども部会（仮）について
- 作業部会報告の中で説明したが、市の協議会の中に子どもについて専門的に協議する部会を設置するため、平成 31 年度から作業部会を立ち上げ準備してきた。その中で事務局としては心苦しいが、結論からいうと、子ども部会は次年度からの発足はできない。理由は今般のコロナの感染拡大により、次年度の予算編成が非常に厳しいこととなったため、基本的に新規事業は国や県の補助金がないかぎり、法的に次年度必ず必要というものの以外は認められない状況にある。子ども部会の設置にあたり報酬という予算が発生するが、現時点で認められなかったため次年度の発足はできない状況。市の事情で大変申し訳ないが、子どもに関して協議を止めることではないので、ご理解いただきたい。
- 部会が 1 つ増える予定だったが新規が難しいということ。ご意見ご質問はあるか。
- コロナの関係で予算が厳しいということは分からなくはない。市として次年度必ずということしかできないということだが、子どもについても協議はしなくてははいけないと考える。そういうところから除外されることはいけない。しっかり取り組んでほしい。
- ご意見はそのとおり。しかし、子ども分野を重視していないということは全くない。令和 3 年度から始まる福祉計画についても子ども分野も重要事項と考えている。しっかり取り組んでいく予定である。コロナ禍における予算編成という理由なので、ご理解いただきたい。
- 子ども部会の立ち上げは難しいが、内容は協議していくということでよいか。
- 医療的ケア児支援の会議など次年度も続けていきたい。引き続きサポートブックもブラッシュアップが必要と考える。引き続き地域生活支援部会の議題となると考えている。必ずという事業にしか予算がつかないことについて、子ども分野も必ず必要と考えているが、「法的に」ということとなると次年度から必ずと言えない。協議会は独自でやるものなので難しかった。
- 新規で何かやろうとすると何かをやめる必要もある。福祉をカットするのはいけないと思うが、例外でなく、今までやっていることを継続する以上、新規を待つということになってしまう。国の補助金が付くと始めやすいが今始めることができない。力不足で申し訳ないがご理解いただきたい。

○残念だが子どものことを引き続き考えていく場を設けていただけるのは良い。

○やめることなく協議は進めていけると聞いて安心した。

○子ども分野に対しても市に提言していけるようにしていきたい。

・災害時の対応等に関する課題について

○現状の部会では取り上げる時間がなかったが、忘れないために挙げていくこととしていた。次年度に向けイメージとして何かあればご意見を伺いたい。

○施設独自で災害対策、避難場所の確認や、防災倉庫の確認はしているが、それだけでよいのかなと思う。実際避難ルートが通れるかとか、やりすぎということはないと思うが他の施設の取り組みなどを参考のため知りたい。情報共有などしたい。

○施設の方については、よほど心配ないと思うが、在宅の方が避難所に行くといっても、集団が苦手の人や行けない人がたくさんいると思う。普段慣れている事業所に避難できたほうが安心だが、そこにいと災害支援や物資は届かない可能性もある。家が良いというときに届くシステムを作らないと災害弱者が増えると思う。

○患者さんから病院に来てもよいかと相談されることがあるが、決まっているところへ行ってほしいという話をしている。

○きちんと周知したり話し合いをしたりできるとよい。

○障害の程度によっても違うし、住んでいる地域でも違うと思う。市内については震災が起きた時の被害想定も踏まえながらそれぞれの方が困らない支援を考えないといけない。各自が自分自身で対策とれるように働きかけをしないといけない。妊産婦や乳児など、様々な場合があり必要なことが違ってくる。個人で必要なものは対策をとっていく必要がある。どこかに行けば全部整うわけではない。どうしても限りはある。

○市の避難訓練に参加した。体育館へ避難された時にどうするかという練習だった。健常者と障害者で空間を分けていく。大雨くらいだったらできそうだが、大規模災害で大量の方が来たら無理だと思った。現時点でも無理ということが目に見えているので自宅が無事な方は自宅ということになってくる。そこに届かないと困るので考えないといけないだろう。外に出られない方もたくさん出ると思う。

○仕組みを作ることも大事だが自助の呼びかけも大事。引き続き取り組んでもらうということで申し送りとしていたい。

(3) その他

・稲沢市第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画について

○周知になるが、稲沢市のHPのコピーを配布している。現時点でパブリックコメントを実施している。期間は1月15日までということで、締切が近づいているが、このように募集しているので、ご協力いただける方があればご意見を頂戴したい。